

学校運営協議会 議事録

第3回 上向台小学校学校 運営協議会(要点記録)

1 日時

令和7年10月6日(月) 10時30分～12時00分

2 場所

上向台小学校 図書室及び各教室

3 出席者

遠藤理事長、鵜澤委員、吉田委員、石川委員、秋田委員、弥頭委員、紺野委員

(欠席:門田委員、村田委員)

校長、副校長、各担当教職員

(1)会長挨拶

会長から、本日の協議会の趣旨説明と挨拶がありました。

(2)校長挨拶

校長から、1学期の教育活動への協力に対する感謝と、本校6年生の全国学力・学習状況調査を基に、児童の主体的な学びや地域との関わりの広がりについて報告がありました。

(3)前期評価の結果について

学力について(主任教諭 戸原)

- ・主体的に学ぶ姿勢が定着しつつあり、児童の93%、保護者の97%が肯定的に回答。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、単元を通した課題解決型学習を推進している。

教科担任・生活指導について(主幹教諭 金子)

- ・教科担任制による専門的な授業実践が進み、授業改善の成果が表れている。
- ・副担任による見守り体制を強化し、児童理解の充実を図っている。

体力について(教諭 秋本)

- ・体力向上に関する肯定的回答は児童91%保護者95%。
- ・体育専科による技能指導や、安全に配慮した活動の工夫を進めている。

地域・情報について(主任教諭 森川)

- ・地域との関わり、ICT活用、情報発信に関する取組を報告。
- ・保護者からの理解も深まり、学校ホームページの閲覧や「すぐーる」を活用した発信が定着している。

(4)意見交換

鵜澤委員

- ・タブレットの活用は重要であり、一人一人に合った学びが可能になる。
- ・読書離れの懸念については、社会全体や家庭との連携が必要。
- ・地域の見守り活動の中で、児童の挨拶がよくできているとの評価。

吉田委員

- ・5年生の農業体験について報告。鎌を使った稲刈りなど、危険も伴うが貴重な体験である。
- ・お米の重さを量るなど、生活に密着した学びを行っていきたい。
- ・徒競走など競争の機会が減っており、体力面への懸念を指摘。
- ・挨拶がしっかりとできているとの評価。

石川委員

- ・企業では挨拶の徹底が基本。放課後、会社に来ている児童にも、同様の姿勢を求めていいる。
- ・オリンピアンとの交流活動など、運動面の取組との連携を提案。

秋田委員

- ・情報発信の充実について、他校の取組を参考にしてみてはどうか。
- ・理科教育への力の入れ方がすばらしい。
- ・挨拶がまだ十分ではない印象。
- ・タブレット活用については、AIに頼らず「自分で考える力」を育む必要がある。
- ・体育発表会を楽しみにしているとのコメント。

弥頭委員

- ・保護者として、一人一人に合った丁寧な指導に感謝。
- ・読書離れが進む中、夏休みの読書記録の取り組みが良かった。
- ・挨拶もよくできている。
- ・令和9年度の学力調査がタブレット実施になるため、周知を希望する。
- ・児童の苦手な面も含め、保護者への丁寧な情報共有を希望する。

紺野委員

- ・学校評価アンケートの回答率向上のための仕組みづくりが必要。
- ・南門での挨拶は約半数程度。学校に関わる全員で意識を高めたい。
- ・タブレット活用について、保護者が子どもの状況を知る機会を増やしてほしい。
- ・情報リテラシーの差や認識の乖離への配慮を。
- ・「ひろがり祭り」での児童の活躍に高い評価。地域とのつながりを実感しました。

(学校側からの回答)

- ・アンケートの回答率向上に向け、今後もリマインド等を通して改善を行う。
- ・土曜授業を活用し、保護者と児童が共に学ぶ機会を設けている。
- ・セーフティ教室を通じて情報リテラシー教育を実施。
- ・AI時代に対応し、「問い合わせをもつ力」「考える力」の育成を重視。
- ・挨拶運動を継続実施し、自分から声をかける姿勢を育てている。
- ・2年生の町探検など、地域との直接的な関わりを重視する。

(遠藤理事長まとめ)

- ・これからの教育では「実体験」が非常に重要である。
- ・挨拶は運動を積極的に行う児童ほどよくできている傾向がある。
- ・正しい言葉遣いを意識した指導の継続が大切。
- ・ペーパーレス化の取組を評価。考える力を育む教育の推進を期待する。

(5)事務連絡

- ・第4回学校運営協議会
令和7年11月21日(金)10時30分～12時00分
テーマ:児童の学力・体力・健康について
- ・体育発表会
令和7年11月1日(土)実施 ※予備日:11月2日(日)
開会8時50分頃／閉会11時30分頃